

インターネット上の違法・有害情報への対応に関する検討会第1回議事要旨
(案)

1, 日時 平成19年11月26日(月) 13:00~15:00

2, 場所 総務省7階省議室

3, 出席者 (敬称略)

(構成員)

五十嵐 善夫、森 亮二(岡村構成員代理)、岸原 孝昌、木村 たま代、国分 明男、小林 洋子、坂田 紳一郎、関 聡司、高橋 信行、竹之内 剛、立石 聡明、田野 弘、長田 三紀、中山安男、長谷部 恭男、春田 真、平澤 弘樹、別所 直哉、堀部 政男、松山 隆司、木村 孝(丸橋構成員代理)、吉川 誠司

※桑子 博行構成員、斎藤 誠構成員、山口 英構成員は欠席

(オブザーバー)

内閣官房IT担当室内閣参事官、内閣府政策統括官付参事官(青少年育成担当)、警察庁情報技術犯罪対策課長、経済産業省情報経済課長、文部科学省青少年課長

(総務省)

増田総務大臣、寺崎総合通信基盤局長、武内電気通信事業部長、安藤総合通信基盤局総務課長、黒瀬データ通信課長、佐藤消費者行政課長、吉田消費者行政課企画官、内藤消費者行政課長補佐、石井消費者行政課長補佐

4, 議事

(1) 開会

(2) 総務大臣あいさつ

(3) 構成員の紹介

(4) 開催要綱(案)について

(5) 座長の選出及び座長代理の指名について

(6) 検討会の公開について

(7) 議題

・インターネット上の違法・有害情報の現状及び総務省の取組
(事務局)

・インターネット上の違法・有害情報の現状
(吉川 誠司 (財)インターネット協会)

・フィルタリング普及促進の現状と課題について

(各事業者団体からの発表)

- | | |
|--------|---|
| 坂田 紳一郎 | (社)電気通信事業者協会 専務理事 |
| 立石 聡明 | (社)日本インターネットプロバイダー協会副会長 |
| 国分 明男 | (財)インターネット協会 副理事長 |
| 小林 一司 | パーソナルコンピュータ事業委員会委員長
株式会社日立製作所コンシューマ事業グループ
放送通信融合事業推進センター長 |

(8) 閉会

5. 議事概要

(1) 開会

(2) 総務大臣挨拶

増田総務大臣より挨拶があった。

(3) 構成員の紹介

(4) 開催要綱(案)について

資料1に基づき、本検討会の開催要綱について事務局より説明を行い了承された。

(5) 座長の選出について

資料1の開催要綱に基づき、堀部構成員が選出された。

(6) 座長代理の指名について

資料1の開催要綱に基づき、堀部座長より長谷部構成員が指名された。

(7) 検討会の公開について

資料2に基づき、本検討会の公開について事務局より説明を行い了承された。

(8) 議題について

①インターネット上の違法・有害情報の現状及び総務省の取組

資料3に基づき、事務局より説明。

②インターネット上の違法・有害情報の現状

資料4に基づき、吉川構成員より説明。

※なお、資料4については座長の判断により非公開とされた。

③フィルタリング普及促進の現状と課題について

資料5に基づき坂田構成員より、資料6に基づき立石構成員より、資料7に基づき国分構成員より、資料8に基づき電子情報技術産業協会パーソナルコンピュータ事業委員会小林一司委員長より、それぞれ説明。

これに関して以下のような言及がなされた。

- フィルタリングを導入しない理由として「ユーザからのニーズがない」を挙げる事業者が多いようだが、ユーザ側にも必要性を理解していないなどの課題があるのではないか。
- 携帯電話ではなくPCにおけるフィルタリングの認知率及び利用率のデータはあるのか。
- PCにおけるフィルタリングの認知率は約66%（資料3P19参照）。利用率については、インターネットを利用している子どものうち約20%がフィルタリングを利用しているとの調査結果がある（平成18年度第2回電気通信サービスモニターアンケート結果）。
- セキュリティソフトに対しては年間数千円支払う人が多い一方で、フィルタリングに関するコスト負担に抵抗を覚える人が多い。
- 総合セキュリティソフトにフィルタリング機能を盛り込んでどうか。
- ネットワーク上にフィルタリングを設定する場合には、設備の増強や管理に関するコストも付随して発生するため、コストが軽いとはいえないのではないか。

④今後の予定について

資料9に基づき、事務局より説明があった。

これに関して以下の発言があった。

- 総務省としては、効果的な対策については年内においてでも随時実施していきたいと考えている。
- 刑法に照らして違法なものについて、現状なぜ取り締まられていないのかという点も論点に加えるべきではないか。
- フィルタリングの普及促進は是非とも進めるべきだが、フィルタリングの導入によってすべて解決されるものではないという前提で議論すべき。

(以上)